8月10日は「道の日」

道路ニュース

THE ROAD NEWS No. 573
平成29年 8 月号

発行所　全国道路利用者会議
〒100-0013
東京都千代田区霞ヶ関3-3-1
尚友会館6階
電話　03-3501-5611㈹
発行人　和田　浩
定価　20 円（会員の購読料は会費に含む）

8月は『道路ふれあい月間』

国土交通省では、8月10日を「道の日」に定めるとともに、毎年8月を「道路ふれあい月間」として、道路を利用する国民の方々に、道路とふれあい、道路の役割や重要性を改めて認識していただき、道路を常に広く、美しく、安全に利用していただくため、道路の愛護活動や道路の正しい利用の啓発等の様々な取組を行っている。

【道路クリーンアップ作戦】

稚内開発建設部（北海道）では、8月3日（金）、道や市、商店街振興組合や町内会等の地域住民と協力して、「稚内中央地区・道路クリーンアップ作戦」を実施した。

「道の駅わっかない」に集合して、稚内市中央地区において、道路（国道・道道・市道）の清掃活動（ゴミ拾い、雑草刈り）を行った。

【小学校生徒の絵画を展示】

福島河川国道事務所（福島県）では、7月28日（金）から9月21日（木）の間、福島市の国道4号と国道13号の交差点下にある舟場町地下道のギャラリーにおいて、福島市立渡利小学校の児童が描いた絵画を展示している。

地下道利用者に楽しんでもらうため、1年生から6年生の児童が図工の時間に描いた個性あふれる作品全31点を2回に分けて展示している。

【道路工事現場の見学会を開催】

関東地方整備局では、7月31日（月）から8月25日（金）の間、管内の12箇所の工事現場において、普段は立ち入ることができない道路やトンネル、橋の工事現場などを間近に見ていただく「道路工事現場こども見学会」を、小中学生の親子を対象として実施する。

8月2日（水）には、東京都渋谷区の渋谷駅前（国道246号）において、歩道橋と地下歩道をつくる工事について、見学会を実施した。

【道のコーナーの開設】

長岡国道事務所（新潟県）では、長岡市内の道路管理者である県、市、高速道路（株）と共同して、8月3日（木）に、長岡まつり わんぱくおまつり広場内に「道のコーナー」を開設した。

「道のコーナー」では、高所作業車やロータリ除雪車の展示・試乗、パネル展示、道のクイズなどを行った。

【小学生対象の建設機械体験会を開催】

多治見砂防国道事務所（岐阜県）では、事務所80周年記念行事の一環として、8月23日（水）に、瑞浪国道維持出張所において、小学生対象の建設機械展示・体験会を実施する。

道路パトロール車、高所作業車、橋梁点検車、災害対策本部車等の展示・試乗、降雨体験機・測量機器の体験やドローン撮影等を行う。

【紀勢自動車道利用促進記念イベントを開催】

紀勢自動車道利用促進実行委員会（事務局：紀南国道事務所（和歌山県））では、紀勢自動車道のさらなる利用促進のため、7月から9月にかけて、地域のイベントと一体的に取り組む「利用促進記念イベント」を実施し、開通効果のPR等を行っている。

7月23日（日）には、道の駅「くちくまの」において、地元商工会が実施する「かみとん市」の中で、本イベントの開会式を実施した。

【パネル展の開催】

岡山国道事務所（岡山県）では、8月9日（水）から10日（木）の間、岡山市役所1階ロビーにおいて、進化を続ける新時代「道の駅」と題し、道の駅の新たな役割を紹介するパネル展を開催した。

いまや単なるドライバーの休憩施設ではなく、地域のにぎわい創出の場となっている「道の駅」、その新たな役割を紹介するパネルを展示した。

【体験!!キッズパトロールの開催】

松山河川国道事務所（愛媛県）では、小学生を対象に道路をまもる仕事への理解を深めて頂くため、8月5日（土）に、松山第一国道維持出張所において、「体験!!キッズパトロール」を開催した。

道路管理に必要な車（機械）の見学や乗車体験、コンクリート練り混ぜ実験、道路管理用カメラでの道路の点検等を行った。

【道路美化活動の実施】

大隅河川国道事務所（鹿児島県）では、地域のボランティア団体等とともに、垂水地区及び鹿屋地区において、8月3日（木）及び9日（水）に、道路美化活動を実施した。

除草、降灰除去、ゴミ拾い等の美化活動を行うとともに、立看板やのぼり旗等の不法占用をしている事業所等に対して、道路の正しい利用について指導を行った。

【共同道路クリーン作戦の実施】

南部国道事務所（沖縄県）では、8月25日（金）に、国道58号那覇市泊交差点～久茂地交差点にかけて、地元ボランティア団体と協力して、「共同道路クリーン作戦」を実施する。

観光客を含めた多くの方々が利用されている道路で、ゴミ拾い等の道路美化活動を行い、道路利用者に対する道路の愛護活動や道路の正しい利用の啓発等のPRを行う。

道路工事現場こども見学会（渋谷駅前の歩道橋と地下歩道をつくる工事を見学）

体験!!キッズパトロール（高所作業車に乗車体験）

道路美化活動の実施（除草、降灰除去、ゴミ拾い等を実施）

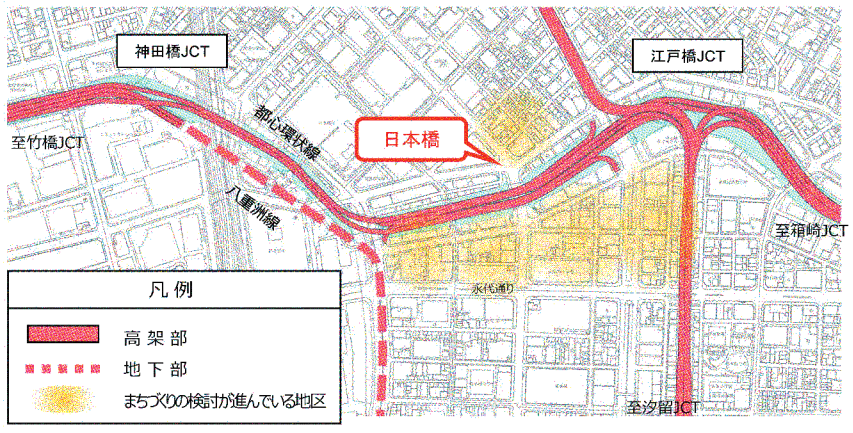
日本橋周辺のまちづくりと連携し、首都高速道路の地下化へ

首都高速道路（以下、「首都高」）は、我が国の経済活動を支える重要な基盤施設として高度経済成長期以来これまで大きな役割を担ってきたが、建設から長い年月が経ち老朽化が進んでいる。一方、整備に急を要したことから、日本橋周辺では首都高が川の上空を通過しており、周辺景観に与える影響について様々な議論がされてきたところである。

このような状況の中、平成26年にこの区間も含めた首都高の大規模更新計画が策定されるとともに、平成28年には日本橋周辺で検討が進むまちづくりの取り組みが、国家戦略特区の都市再生プロジェクトに追加された。この機会を捉え、民間の発意によるまちづくりの展開と連携して首都高を地下化することは、国際金融都市にふさわしい品格のある都市景観の形成、歴史や文化を踏まえた日本橋の顔づくり、沿道環境の改善など様々な効果が期待される。

また、中央区から、国・都に対し、首都高の地下化への申し入れがされるなど、地元の機運も高まってきたところである。

これらのことから、国、東京都、首都高速道路（株）は共同で、日本橋周辺のまちづくりと連携して首都高の地下化に向けて取り組んでいくこととし、今後、関係者で計画案（線形や構造、対象区間など）について検討していくこととした。



平成29年8月19日（土）　開通

京奈和自動車道 御所南IC～五條北IC

～関空と世界遺産をつなぐ観光周遊ルートの形成～

国土交通省近畿地方整備局奈良国道事務所が建設を進めてきた京奈和自動車道・大和御所道路の御所南IC～五條北ICが8月19日（土）に開通する。

大和御所道路は、京奈和自動車道の一部を構成する道路で、高速道路ネットワークの役割を果たすとともに、広域ネットワークの形成による地域間のアクセス性の向上が図られ、物流の効率化による産業支援、観光産業の活性化等への寄与を目的とした道路である。

今回の開通により、橿原高田IC～和歌山JCTの61・7㎞が高速自動車道として一本につながり、さらに和歌山JCTで阪和自動車道に直結することにより、関西国際空港へのアクセスが便利になる。

また今回の開通にあわせ、奈良県内では初めて高速道路ナンバリング標識が設置される。

【開通効果】

◇企業立地の促進

大和御所道路の整備による大阪や名古屋へのアクセス向上により、企業立地の促進、雇用拡大が期待される。

◇観光振興の支援

京奈和自動車道の整備により、大阪・関西国際空港から奈良・和歌山の世界遺産を結ぶ新たな観光周遊ルートが形成され、観光振興を支援する。

◇救急医療活動の支援

五條市中心部と奈良県立医科大学附属病院間の場合、救急搬送の時間が従来に比べ17分程度短縮され、患者への負担軽減につながる。

【開通日時】

平成29年8月19日（土）17時（予定）

【開通区間】

京奈和自動車道　大和御所道路（御所南IC～五條北IC）／延長7・2㎞

出典：奈良国道事務所

位置図

平成29年度「道路ふれあい月間」推進標語

『この道で おはよう さよなら ありがとう』

“道路総合システムサービス”企業
NICHIREKI
ニチレキ株式会社
東京都千代田区九段北4-3-29　TEL03(3265)1511代表